



～RUN伴（ランとも）～

RUN伴は、認知症の人や家族、支援者、一般の人がリレーをしながら一つのタスキをつなぎゴールを目指すイベントです。町でも、皆さんが認知症に関心をもつきっかけとなるよう行っています。
 ※写真は令和元年9月に撮影したものです。令和2年、令和3年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

特集 認知症

誰もが安心して暮らせるまち
 ～認知症とともに笑顔で過ごせる地域へ～

誰もがなり得る病気

高齢化が進む日本では、認知症の人が年々増加し、2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になると言われています。認知症は、今や誰もがなり得る身近な病気です。

認知症になると

認知症になると、何もできなくなるのではという印象を持っています。しかし症状は人によって違います。「自分ごと」として認知症の正しい知識を身に付けることが大切です。

認知症になっても

認知症の当事者やその家族が、安心して住み慣れた地域で暮らしていくためには、病院での治療や介護サービスなどの他に、地域全体で見守り、支えていく日頃の関わりが重要です。

町では、地域住民、ボランティア、NPO法人などの地域で活躍する多くの人とつながることで、認知症の当事者やその家族が安心して暮らせるまちを目指す取り組みを進めています。

自分が認知症になった時、どんな地域で暮らしたいですか？地域の人にどのような関わりをしてほしいですか？